

# 「心豊かで活かに満ちた生徒の育成」

佐世保市立日野中学校  
佐世保市日野町2079番地  
校長 富永 仁  
生徒数 351名 学級数 14



## 1 校訓



『すべての人を愛する』  
『自分から先に愛する』  
『相手を自分のように愛する』  
『相手と自分を一つに』

- (1) 思いやりの心を大切に、生き抜く力のある生徒の育成
- (2) 自ら目標を持ち、進んで学び、自ら考え、正しい判断ができる生徒の育成
- (3) 心身ともに健やかな生徒の育成
- (4) 人間の尊厳を重んじ、人権を考える生徒の育成
- (5) 勤労を貴び、郷土を愛する生徒の育成

## 2 目的

- (1) 学校生活で身についた力を、家庭や地域で生かすことができ、生徒自身が体験活動をしてよかった思える活動を目指す。
- (2) 親や教師に頼ることなく、自ら考え、活動を工夫し、意欲を持って学ぼうとする「生きる力」を育てるとともに、広い意味での知的関心を高め、責任をもって行動する生徒を育てる。
- (3) 心豊かで、人間性あふれる生徒を育てる。



### 3 実践内容

#### (1) 部活動と行事や体験活動等の充実

##### ○部活動の活躍

県中総体出場：団体5（優勝1、準優勝2、3位2）、個人4名

九州大会出場：団体1

第64回長崎県吹奏楽コンクール地区大会：金賞、県大会：奨励賞

第56回九州・山口地区中学生海の絵画コンクール：銅賞1

○「朝のあいさつ運動」…日野中一徳運動「み・そ・あ・じ」の「あ」

○第2学年：職場体験学習（35事業所）第3学年：修学旅行（京都市内班別自主研修）

○地域行事への参加…吹奏楽部（公民館祭・地域防犯パレード）

○学校カレンダーの作成と保護者及び地域への配布



#### (2) 学力向上をめざした放課後学習の実施（みんなの学習クラブ）

○Web教材（みんなの学習クラブ）を活用した教材作成により、国・英・数の3教科について全職員で習熟度別の放課後学習会を実施した。

#### (3) 「いのちを見つめる日教育講演会」「メディア講習会」等各種講話の実施と心の教育

○スマホ・ケータイ安全教室（1・2年生、教職員、保護者）

○いのちを見つめる日教育講演会（全校生徒、教職員、保護者）

○性教育講演会（3年生、教職員、保護者）

○薬物乱用防止教室（2年生、教職員、保護者）

○メディア講習会（全校生徒、教職員、保護者）

○フリースペース「ふきのとう」映画上映会（全校生徒、教職員、保護者）

#### 4 成果

- (1) 部活動や行事への積極的な参加と各種講演会の開催による社会性の醸成によって、生徒の自己肯定感が高まった。学校評価における「部活動への意欲的な参加」は生徒の平均が3.4、「社会のルールや学校のルールを守る」では、生徒の平均が3.5と高い評価を得た。
- (2) Web教材（みんなの学習クラブ）を活用した教材作成により、国・英・数の3教科について全職員で習熟度別の放課後学習会を実施した。25分間の短時間ではあるが、全教員が一斉に教室指導に当たるため、基礎学力が不十分な生徒へのきめ細かな指導につながっている。
- (3) 「いのちを見つめる日教育講演会」を聴いて、本校の生徒たちは大きな感銘を受け、「幸せの種まき」について知り、考える機会となった。
- (4) 12月に「メディア講習会」の講話や「映画上映会」の上映により、生徒たちに「人権意識」を高めることにつながった。人権教育に対する意識の向上が見られ、学校評価では生徒の平均が3.3、教員の平均が3.3と高くなっている。



#### 5 今後の課題

- (1) 生徒数減少に伴い、部活動（運動部）のチーム編制が難しくなり、教職員の定数減少のため、顧問数が不足してくる。部活動の数を精選し、活動に支障がないように外部コーチの数を増やす等の対策を急ぐ必要がある。
- (2) 地域の小学校と連携し、同様な内容の「講演会」を調整し、学年に応じた適切な設定を地域ぐるみで行いたい。
- (3) 学校・家庭・地域が互いに連携・協働して教育に取り組む学校づくりを目指し、コミュニティ・スクール設置の方向性を検討しながら、家庭・地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりを進めたい。